



僕たちの“育児休業体験”

～かけがえのない時間を大切にしたい～

育児はまだ妻頼みの家庭が多いなか、(出生時)育児休業制度を利用し、積極的に子育てに参加している男性社員に、それぞれの思いを語り合ってもらいました。



育児を取得しづらい理由は職場への遠慮？

— 皆さん、父親も育児休業制度を利用できることはご存じだったそうですが、取得にためらいはありませんでしたか。周囲の反応はどうか？

五十嵐 私が休むと他の方の業務的負担が増えるので、やはり申し訳なさがありました。でも上司も同僚も「どんどん取りな」と言ってサポートしてくれたので有難かったです。



人事部 五十嵐 友仁

田沢 私は2人目の子供で、1人目は前の会社にいたときだったので、その時は育児の話など一切ありませんでした。伊藤組土建では会社のほうから制度の説明があり、上司も「もちろん取りなよ」と快く認めてくれて、本当にいい会社だなと思いました。笑

— 日本では育児は母親、父親は仕事という考え方が未だに根強くありますが、このような価値観に対してはどう思いますか？

田沢 今回育児を取って思ったのは、子供が小さい時の一瞬一瞬はとても貴重だということです。個人的には父親も育児に参加して、そのかけがえのない時間を共有してほしいと思います。また、うちのようにならぬように、妻一人では本当に大変です。できる限り一緒に育児をすることも私の仕事だと思っています。

— 育児=母親という価値観のほかに、男性が育児休業制度を利用しづらい要因として、どんなことがあるでしょう？

佐藤 育児と同じで、やはり育児も女性が取るものというイメージが強いです。当社だけではなく、世の中全体に男性も育児を取りましようという雰囲気が広まれば、もっと取りやすくなるのではないのでしょうか。

— ベトナムと日本では、子育てに対する考えや姿勢にどんな違いがありますか？

ハイ 私の知る範囲でのことになりますが、みんな『子育ては一番大事な仕事』と考えています。ただ、詳しくはわかりませんが、日本のように男性が取れる長い休業制度はなかったはず。出産後



土木部 ケン・ヴァン・ハイ

しばらくは親に手伝ってもらうのが一般的で、実は私たちが当初は親に来てもらう予定でした。しかし、コロナの影響で来られなくなり、他に頼れる人もいなかったので、約3カ月という長い育児を取ったのですが、職場の人も理解して応援してくださり、大変助かりました。

育児の喜びや大変さを共有 家族の関係性にも好影響

— 育児を取ったことによって、育児に対する認識や奥様への気持ちに変化はありましたか？

五十嵐 お母さんって本当にすごいな一って思いましたね。朝から晩までずっと育児をし続けて、初めての子供でわからないことも多いはずなのに、それでも何とかやっている。私にはとてもできないので、掃除でも洗濯でも積極的にやって、妻の負担を減らすよう意識して動いていました。

田沢 うちも、上の子が「ママ、ママ」って常に付いて回し、寝る暇もないような忙しさを見て、正直、仕事のほうが楽なんじゃないかと感謝の気持ちを強くしました。

ハイ 私もそうですね。できることを手伝って、ちゃんと感謝や労いの言葉をかけるようにしています。

— 育児の利用や拡大は、その期間中だけではなく将来にわたって家族の関係性にいい影響を与えますか？

佐藤 もちろん与えると思います。生まれたばかりの命が育っていく尊い時間を、一喜一憂しながら一緒に過ごした思い出は一生忘れないはず。たとえ子供は憶えていなくても、家族の絆を強くすると思います。



建築部 佐藤 薫



田沢 1日中家にいても、母親は休む間もなく子供の面倒をみているということを理解しますから、育児が終わった後も、できるだけ時間を作って子供の世話をするようになるのではないのでしょうか。

五十嵐 私もご飯とお風呂は、引き続き担当しています。笑

育児が当たり前の社会を目指す。経験者からの提言

— 今後、より育児を取得しやすくするには、どのような環境整備が必要だと思いますか？

ハイ 私は長い育児を取る予定だったこともあり、取得の7カ月くらい前から相談していました。皆さん協力して調整してくださいましたが、やはり迷惑をかけてしまうので、申し訳ない気持ちが大きかったです。

田沢 育児が取りづらい1番の理由は、その人がなくなった分の仕事が誰に行くのかという問題があるからだと思います。育児を取った人の仕事をどう補っていくか、制度の拡充など社会全体で取り組む必要があるのではないのでしょうか。



総務部 田沢 瑞輝

佐藤 休む前の準備もありますが、現場は日々動いているので、戻ったときに休業期間中のことを引き継ぐのもまた大変です。私は5日間でしたが、それでも結構な量でしたから、あまり長く休むと今度は戻りづらいという問題が生まれるかもしれません。その視点からの整備も必要だと思います。

五十嵐 休業期間中の収入の問題もあります。当社では3日間は有給休暇扱いになりますが、それ以降は無給となり、育児休業給付金の支給(*)のみです。私の場合、妻の収入がなく、私の給付金だけでは厳しいということで長期取得を諦めた面もあるので、この部分を助けてくれるような制度があれば、もっと取りやすくなるのではないのでしょうか。

田沢 私の父なんか、母から「あなたは出産に立ち会わなかった」と未だに言われていますが(笑)、いつか父親も育児を取ることが当たり前になって、育児を取らないと家族はもちろん、周囲からも驚かれるような時代になってほしいですね。



【ファシリテーター】人事部 新谷 祐里

*支給日数合計が180日までは賃金月額67%相当。それ以降は50%相当額。